

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 二島 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

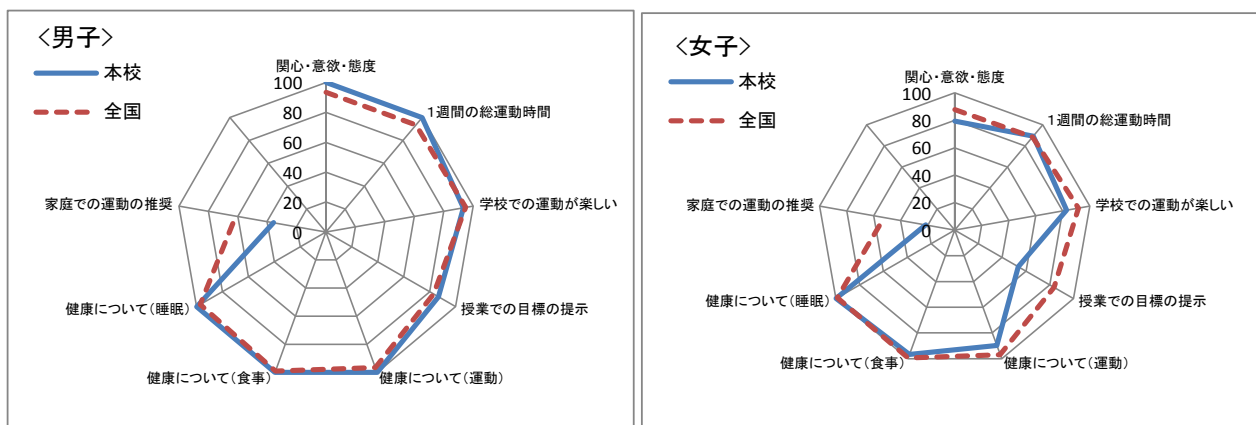
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77
本校の全国平均以上の種目					○	○	○	○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74
本校の全国平均以上の種目					○			○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

運動することについては、男子の関心が高く、好きな児童が多い。女子は男子に比べるとやや関心は低い。男女とも、健康には運動や食事、睡眠が大切であることを理解している。また、一週間の総運動量を見ると、男女とも全国平均を上回っている。しかし、家庭での運動の推奨については、全国と比べても低く、児童の多くは、運動を自分から進んでしていると思われる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

本校の児童は、握力、上体起こし等の基本的な運動の力が低いため、基礎的な体力アップを目指し、各学級の体育の時間に、「ジャンプアップ運動」等の準備運動をどの学年でも取り入れ、継続することで、児童の体力向上を図ってきた。運動の種類を少しずつ増やしなが、今後もさらに体力アップを図っていききたい。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

毎週1回、休み時間に、「体力向上チャレンジタイム」を設定し、全校児童で持久走や縄跳び運動をしてきた。児童が、進んで運動場に出てきて運動するようになった。継続することで、個々の運動能力も上がってきたようである。保護者には、家庭での運動の啓発のため、学校通信や学級通信等で、学校での取組を紹介していききたい。